



第113・114号 (昭和44年4月・5月)

目次

関係法令..... 1

学内規則..... 3

 富山大学工学部規則の一部を改正する規則..... 3

諸会議..... 3

人事異動..... 3

学内諸報..... 5

 大学紛争の経過..... 5

 昭和44年度入学式..... 6

 文理学部長の改選..... 7

 永年勤続者の表彰..... 7

 教員の海外旅行の雑感(ナホトカの情景)..... 7

職員消息..... 8

主要日誌..... 9

関係法令

法律

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律 (29) 5.15

行政機関の職員の定員に関する法律 (33) 5.16

政令

国立学校設置法施行令の一部を改正する政令 (55) 4.1

国立大学の大学院に置く研究科の名称及び課程を定める政令の一部を改正する政令 (76) 〃

義務教育費国庫負担法に基づく教材費の国庫負担の限度額算出の基礎となる額を定める政令の一部を改正する政令 (77) 〃

日本育英会法施行令の一部を改正する政令 (78) 〃

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律施行令の一部を改正する政令 (117) 5.15

行政機関職員定員令 (121) 5.16

省令

文部省関係許可認可等臨時措置令施行規則 (文部6) 4.1

文部大臣の所管に属する民法第34条の法人の設立及び監督に関する規程の一部を改正する省令

(文部7) 〃

国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (同8) 〃

国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令 (同9) 〃

学位規則の一部を改正する省令 (同10) 〃

学校教育法施行規則の一部を改正する省令 (同11) 〃

国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令 (大蔵30) 5.9

文部省定員規則 (文部12) 5.21

文部省設置法施行規則の一部を改正する省令 (同13) 〃

国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令 (同14) 5.21

国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令の一部を改正する省令 (同15) 5.22

規則

俸給表の適用範囲の一部を改正する規則 (人事院9-2) 4.1

期末手当及び勤勉手当の一部を改正する規則 (同9-40) 〃

指定職俸給表の適用を受ける職員の俸給月額の一部を改正する規則 (同9-42) 〃

非常勤職員の給与の一部を改正する規則 (同9-1) 4.3

俸給の調整額の一部を改正する規則 (同9-6) 〃

特殊勤務手当の一部を改正する規則 (同9-30) 〃

俸給の特別調整額の一部を改正する規則(同9-17) 〃

初任給,昇格,昇給等の基準の全部を改正する規則 (同9-8) 5.1

暫定手当の一部を改正する規則 (同9-22) 〃

管理職員等の範囲の一部を改正する規則 (同17-0) 〃

俸給の特別調整額の一部を改正する規則 (同9-17) 5.17

訓令

国立大学の事務局等の部及び課に関する訓令の一部を改正する訓令 (文部2) 4.1

文部省所管会計経理事務取扱通則の一部を改正する訓令 (同4) 〃

文部省会計事務取扱規程の一部を改正する訓令 (同5) 〃

文部省債権管理事務取扱規程の一部を改正する訓令 (同6) 〃

文部省所管物品管理事務取扱規程の一部を改正する訓令 (同7) 〃

文部省所管国有財産事務取扱規程の一部を改正する訓令 (同8) 〃

文部省宿舎事務取扱規程の一部を改正する訓令 (同9) 〃

文部省所管国有財産取扱規程の一部を改正する訓令(文部10)	4.25	短期大学の学科の廃止を認可した件(同220~224)	4.14
文部省所管船舶乗組員に対する旅費支給規則の一部を改正する訓令(同11)	4.26	短期大学の名称の変更を認可した件(同225)	〃
文部省定員細則(同12)	5.21	国立の義務教育諸学校の災害共済給付契約に係る児童又は生徒についての共済掛金の額のうち、その保護者等から徴収する額を定める等の件(同226)	〃
国立大学の学部の附属病院及びその分院並びに附属研究所の附属病院に置く診療科を定める訓令の一部を改正する訓令(同13)	5.22	無形文化財を重要無形文化財に指定する等の件(同227)	〃
国立大学の医学部の附属病院及びその分院に置く臨床検査等に関する部を定める訓令の一部を改正する訓令(同14)	〃	文部省共済組合運営規則の一部を改正する件(同234)	〃
大蔵省所管会計事務取扱規則の一部を改正する訓令(大蔵8)	5.29	保健婦助産婦看護婦法に規定する学校を指定した件(同235)	〃
告 示		指定技能教育施設の連携措置に係る科目を指定した件(同236, 237)	〃
教員免許状授与の所要資格を得させるための課程を認定した件(文部102.103)	4.1	保健婦助産婦看護婦法に規定する学校の指定を取り消した件(同238, 241)	〃
養護教諭養成機関を指定した件(同104)	〃	保健婦法に規定する学校を指定した件(同239, 240)	〃
教員養成機関を指定した件(同105)	〃	保健婦助産婦看護婦法に規定する学校を指定した件(同243)	4.24
技能教育のための施設を指定した件(同109~129)	4.8	衛生検査技師法に規定する学校を指定した件(同244)	4.26
天然記念物メグロ等を指定する件(同131)	4.12	保健婦助産婦看護婦法に規定した件(同245)	4.28
天然記念物十二町瀧オニバス発生地指定区域を追加して指定する件(同132)	〃	教科用図書検定申請受理種目及び定価認可基準の一部を改正する件(同246)	5.9
史跡日中込学校を指定する件(同133)	〃	教科用図書検定基準の一部を改正する件(同247)	〃
史跡日見付学校附盤田文庫を指定する件(同134)	〃	中学校用教科用図書に係る教科用図書検定基準の適用について告示(同248)	〃
名勝永保寺庭園を指定する件(同135)	〃	保健婦助産婦看護婦法に規定する学校の指定を取り消した件(同249)	5.10
史跡方広寺石罍及び石塔を指定する件(同136)	〃	学校設備調査規則の規定に基づき調査を行なう学校、調査の区分、調査実施の年度及び期日等を定めた件(同250)	5.14
史跡上野麁寺跡の地域を追加指定する件(同137)	〃	大学の位置を変更する旨の届出があった件(同251)	〃
史跡寄倉岩陰遺跡を追加指定する件(同138)	〃	昭和44年度社会教育主事講習を行なう大学、受講者の人数、選定の方法、講習の期間等を告示(同252)	〃
史跡小管修船場跡を追加指定する件(同139)	〃	教育職員免許法に規定する教員養成機関を指定した件(同253)	〃
重要民俗資料乗燭コレクション等を指定する件(同140)	〃	史跡左山古墳を指定する件(同254)	5.23
指定技能教育施設の連携措置に係る科目を指定した件(同141~195)	4.14	史跡宮の前麁寺跡を指定する件(同255)	5.27
試験所又は研究所を指定した件(同196)	〃	通信教育を認定した件(同256)	〃
試験所又は研究所を指定した件の一部を改正する件(同197)	〃	通信教育として認定した電気工学指導講座の名称を変更することを許可した件(同257)	〃
史跡石見銀山遺跡を指定する件(同198)	〃	通信教育として認定した法律講座民法課程を廃する等の件(同258)	〃
中学校学習指導要領の全部を改正する件(同199)	〃	中学校学習要領の特例を定める件(同259)	5.29
大学の学部の設置を許可した件(同200)	〃	指定技能教育施設の連携措置に係る科目を指定した件(同260)	5.30
短期大学の設置を認可した件(同201~207)	〃	技能教育のための施設を指定した件(同261~264)	〃
大学の名称の変更を認可した件(同202)	〃		
短期大学の位置変更を認可した件(同203~205)	〃	官庁報告	
大学の廃止を認可した件(同206)	〃	昭和44年度国家公務員採用試験施行計画(人事院事務総局)	4.1
大学院の設置を認可した件(同208~214)	〃		
短期大学部の廃止を認可した件(同215)	〃		
短期大学の廃止を認可した件(同216~217)	〃		
大学の学部の廃止を認可した件(同218, 219)	〃		

学 内 規 則

富山大学工学部規則の一部改正

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和44年5月19日

富山大学長事務取扱 竹内豊三郎

富山大学工学部規則の一部を改正する規則

富山大学工学部規則（昭和25年12月15日制定）の一部を次のように改正する。

別表(1)中、生産機械工学科の表の関連科目のうち

「生産管理 4」を「生産管理 2
品質管理 2」に改める。

附 則

この規則は、昭和44年5月19日から施行し昭和44年4月1日から適用する。

諸 会 議

第1回 評議会（4月1日）

（議題）

1. 昭和44年度富山大学入学者選抜学力検査の合格者について
2. 昭和44年度富山大学経済学専攻科の合格者について
3. 昭和44年度入学式について
4. その他

第1回 協議会（4月7日）

（議題）

1. 学長候補者の選考について

第2回 評議会（4月7日）

（議題）

1. 経済学部教官人事について

第2回 協議会（4月18日）

（議題）

1. 次期学長候補者の選考について

第3回 評議会（4月18日）

（議題）

1. 次期学生部長候補者の選考について
2. 教官人事について
3. その他

第3回 協議会（4月24日）

（議題）

1. 次期学長候補者の選考について

第4回 評議会（4月24日）

（議題）

1. 次期学生部長候補者について
2. 教官人事について
3. その他

第4回 協議会（5月2日）

（議題）

1. 次期学長候補者の選考について

第5回 評議会（5月2日）

（議題）

1. 当面の問題について
2. その他

第5回 協議会（5月9日）

（議題）

1. 学長事務取扱の辞任について
2. その他

第6回 協議会（5月19日）

（議題）

1. 学長事務取扱の辞任について

第6回評議会（5月19日）

（議題）

1. 富山大学工学部規則の一部を改正する規則（案）について
2. 教官人事について
3. 学士入学について
4. その他

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 者
	平 山 実	助教授（文理学部）に採用する	44. 4. 1	文 部 大 臣
	尾 島 十 郎	講 師（ 〃 ） 〃	〃	学長事務取扱
	山 口 晴 司	助 手（ 〃 ） 〃	〃	〃
	東 軒 克 夫	助 手（ 〃 ） 〃	〃	〃
	鶴 木 利 雄	助教授（教育学部） 〃	〃	文 部 大 臣
	田 中 久 弥	教 授（工学部） 〃	〃	〃

	大竹 勉	講師(工学部)に採用する	44. 4. 1	学長事務取扱
	島崎 利治	助手()	〃	〃
	川田 勉	〃 ()	〃	〃
	田子 修	〃 ()	〃	〃
	広田 実	助教授(教養部)	〃	文部大臣
	西門 正巳	講師(経営短期大学部)	〃	短大学長事務取扱
	珠玖 拓治	助手()	〃	〃
	木越 政利	教諭(教育学部附属中学校)	〃	学長事務取扱
	杉村 修	〃 ()	〃	〃
	宮前 明	〃 ()	〃	〃
	黒崎 貞雄	〃 (教育学部附属小学校)	〃	〃
	嶋作 恭子	〃 ()	〃	〃
	国永 正紀	〃 ()	〃	〃
	岡本 欣司	文部技官(文理学部)	〃	〃
	水野 透	〃 ()	〃	〃
	篠田 操	〃 (工学部)	〃	〃
	大崎 秀雄	事務員(庶務部人事課)	〃	〃
	堀口 勲	〃 (文理学部)	〃	〃
	麻生 俊一	技術員(工学部)	〃	〃
	柴田 幹	〃 ()	〃	〃
	高邑 英市	事務員(教養部)	〃	〃
	森井 章	〃 (附属図書館)	〃	〃
	岩城 広光	技能員(文理学部ガラス工)	〃	〃
	竹林 信儀	用務員(工学部作業員)	〃	〃
	島野 砂	事務補佐員(工学部)に採用する	〃	〃
	松村 洋子	〃 ()	〃	〃
	小泉 時世	〃 ()	〃	〃
講 (薬学部)	菅野 延彦	助教授(薬学部)に昇任させる	〃	文部大臣
(工 学部)	嶋尾 一郎	〃 (工学部)	〃	〃
()	時沢 貢	〃 ()	〃	〃
(教 養部)	間庭 充幸	〃 (教養部)	〃	〃
(助 手)	福田 明夫	講師()	〃	学長事務取扱
講 (経営短期大学部)	谷川 宗隆	助教授(経営短期大学部)	〃	文部大臣
()	高橋 敏朗	講師()	〃	短大学長事務取扱
教 (教育学部附属小 学校)	島田 秀信	教頭(教育学部附属小学校)に併任する	〃	文部大臣

助(東北大)手(学部)	女川博義	助手(工学部)に転任させる	44.4.1	学長事務取扱
文部技官(教育学部看護婦)	福村より子	文部教官(教育学部附属中学校養護教諭)に配置換する	〃	〃
(工学部)	佐野輝治	施設課へ配置換する	〃	〃
助(文理学部)手(講)	中川英世	富山工業高等専門学校に出向させる	〃	〃
(工学部)	北川泰郎	富山商船高等専門学校に出向させる	〃	〃
文部事務官(附属図書館事務長)	那智平八郎	休職にする(期間は45.3.31まで)	〃	文部大臣
教諭(教育学部附属中学校)	篁ハル	〃	〃	学長事務取扱
技能員(工学部)	茶山寛人	〃	〃	〃
教諭(教育学部附属中学校)	新田文子	辞職を承認する	〃	〃
臨時用務員(教養部)	今村ます子	〃	44.4.21	〃
(教育学部)	田盛一枝	〃	〃	〃
	能手哲治	事務員(工学部)に採用する	44.4.26	〃
	佐野明美	技術員(薬学部) 〃	44.5.1	〃
	高野俊英	事務員(工学部) 〃	〃	〃
	中島範子	事務補佐員(文理学部)に採用する	〃	〃
	五百崎喜明	〃	〃	〃
	二宮英治	〃	〃	〃
助(工学部)手	高安紀	助手(文理学部)に配置換する	〃	〃
	津野康子	事務補佐員(薬学部)に採用する	44.5.6	〃
教育学部(教養部)	酒井康彦	学生部長に併任する(任期44.5.9~46.5.8)	44.5.9	文部大臣
(教育学部)	梅原隆章	学生部長の併任を解除する	〃	〃
(教育学部)	深井三郎	評議員に併任する(任期44.5.9~44.5.31)	〃	〃
事務補佐員(薬学部)	白石穎子	辞職を承認する	44.5.15	学長事務取扱
	棚田成紀	助手(薬学部)に採用する	44.5.16	〃
助(薬学部)手	星野重孝	辞職を承認する	〃	〃

学内諸報

大学紛争の経過 (3)

竹内学長事務取扱は、これまで告示等により数回にわたり全学集会を早急に開くよう、また不法占拠を解除するよう要望したにもかかわらず、依然としてストおよび不法占拠が続いている現況を憂慮し、4月1日さらに全学生に対し「学生諸君へ」(別記)の書簡を郵送し、早急に平静な大学に立ち戻るよう呼びかけたが何ら好転する傾向がみられなかった。

4月7日竹内学長事務取扱は占拠学生に対し封鎖を解除するよう学長告示を行なったが、解除しないので事務機構がほとんど麻痺し、新入生の入学式や授業開始に伴なり事務を遂行することが望めなくなったため、4月9日早朝、教職員約200名と機動隊の協力によって、五福地区4学部および教養部の事務室封鎖を解き、翌10日学長事務取扱から全学生に対し、機動隊導入措置について理解するよう「学生諸君へ」(別記)の書簡を郵送した。また4月11日午前10時、黒田講堂において昭和44年度入学式が行なわれた。

しかるに学生の学内立入禁止の解除された4月14日文理学

部前で全学大衆団交推進会議は機動隊導入弾劾集会を、工学部ではスト権確立のため、教育学部ではスト権行使のための学生大会を開くなど動揺激しく、今までストに入っていなかった工学部、教育学部はそれぞれストに突入し、全学ストとなった。また文理学部文学科学生が学生大会後、学長室、局長室に乱入すると共に学生課長、厚生課長を教養部教室に連行、自己批判を求め薬学部においても教授1名が教室に連行される等の事件が発生した。

4月22日の各学部オリエンテーションは教育学部、工学部が実施したが、他の学部は学生の妨害によって延期され新入生の授業開始の見通しがつかぬ状態となったので、4月26日教養部長が新入生に対して5月1日から授業を開始する旨を掲示した。しかし5月1日教養部で新入生の授業を開始しようとしたが、大衆団交推進会議の学生に妨害され授業ができず、同日午前9.30から教官と一般学生、新入生約600名で討論集会が開かれたが合意に達しなかった。

例年のとおり5月28日から第15回大学祭が行なわれ、同日午後1時から黒田講堂前で行なわれた全学大衆団交推進会議の全学総決起集会には学生、約200名が参加したが市中行進出発後、残り学生の一部約100名は学内デモに移り午後2時から、まず守衛室を占拠し、正門、裏門その他の門をバリケードで封鎖し、引き続き大学本部、経済学部本館など再封鎖する暴挙が行なわれた。翌29日、工学部学生大会でスト解除を決議し、30日から授業が再開されることになったが、31日午後2.30五福構内で全学総決起集会後、薬学部全建物を占拠封鎖したので、同学部事務室が附属学校旧校舎に移るなど、大学紛争はますます深刻な状況となった。

昭和44年4月1日

学 生 諸 君 へ

富山大学長事務取扱 竹内 豊三郎

昨年11月以来、一部の過激学生によって本部の建物が不法占拠され、さらにこの3月には、文理学部、経済学部、薬学部、教養部の学生がストに突入し、その上、五福地区の全学部の事務室までが不法占拠された結果、本学における教育、研究、事務の機能が麻痺状態になったことは、諸君もよく承知のことと思います。

このような学内における暴力の横行、教育研究活動の中断や衰退、学園の荒廃という現状からみて、大学が閉鎖されるという最悪の事態が起こることはともかくとして、本学において既に計画されてきた新しい施設や設備などの拡充をはかることはおろか、従来の水準を維持することさえも、極めて困難になってくるものと思います。また、スト占拠等がこれ以上続けば、授業の再開はますますむずかし

くなり、ひいては諸君の卒業時期が遅れることも、じゅうぶん予想されてきます。

諸君の要求している本学における諸問題については、既に各学部で、教官との集会や話し合いが数多くもたれてもおりますが、その総括的な意味合いを含めて、これまで全学集会の開催を提案してきた次第です。

諸君がこの提案に賛成し、ストおよび占拠の解除に協力して、一日も早く平静な大学にたちかえることを心から希望する次第です。

昭和44年4月10日

学 生 諸 君 へ

富山大学長事務取扱 竹内 豊三郎

紛争が起こってからすでに5カ月あまりになりますが、この間に本部はじめ文理、経済、教育、教養部の各事務室が封鎖され、本学における事務機構がほとんど麻痺してしまつたため、4月11日に予定されている新入生の入学式や授業開始に伴う事務を遂行することは望めなくなりました。

これまで数回にわたつて占拠学生に対し封鎖を解除するように呼びかけましたが実効をおさめることができず、このため、やむをえず昨日早朝教職員が警察の協力によって封鎖解除の措置にふみきました。

学生諸君の中には、警察力の導入が大学の自治を侵害することになるとして反対する人もいるでしょうが、この数か月間の状態こそ大学そのものが自治を冒され、学問の場を失い、その存立をも脅かされていたというべきではないでしょうか。

私は大学における責任者として、大学の自治と学問の自由の確保については、常に重大な関心をもっておりますが切迫したこの事態において、社会的な使命を果たす上からも、遂にとらざるをえなかったこの措置について諸君が理解してくれることを期待するものです。

今後諸君の良識ある行動によって、富山大学が理性の府として再建されることを願う次第です。

昭和44年度入学式

第21回富山大学ならびに第11回富山大学経営短期大学部入学式は、4月11日(金)午前10時から機動隊の学外警戒のうちに黒田講堂で挙行され、各学部合計914名(内沖繩学生3名)、経営短期大学部81名の新入学生を迎え、竹内学長事務取扱の式辞に続いて新入生代表、石本雅彦(工学部電気工学科)、西宮進次郎(経営短期大学部)の両君が答辞を述べて式を閉じた。

なお大学院薬学研究科および大学院工学研究科入学式は4月14日午前にそれぞれの学部で行なわれた。

文理学部長の改選

竹内文理学部長が5月6日、教授会において辞意表明が了承されたので、文理学部長選挙が同月14日同学部において行われ、西山勤二教授が次期文理学部長に選ばれた。

西山勤二教授は昭和6年3月京都帝国大学文学部を卒業し昭和9年3月神奈川中学校教諭に就任、同18年7月岐阜師範学校教授、同20年7月愛知第一師範学校教授、同24年8月愛知学芸大学助教授、同35年6月富山大学教授昇任、同38年6月評議員に併任。愛知県常滑市出身。

永年勤続者の表彰

本学職員表彰規則による本年度の表彰式が5月31日（本学創立記念日）午前10時から合同仮事務室（附属中学校旧校舎）会議室で行なわれ、次の24氏が永年勤続者として表彰された。

〔勤続35年〕

大滝 直平（教育学部）

〔勤続20年〕

森田タミ子（庶務部庶務課）	船見 幸生（教育学部）
加藤 昭作（経理部主計課）	上野 ひろ（ 〃 ）
民谷 順治（ 〃 経理課）	中田ふじえ（経済学部）
荒屋 克子（ 〃 〃 ）	永原 茂（薬学部）
吉野 敏邦（施設課）	森田 直賢（ 〃 ）
奥野 武則（学生課）	山下 寿和（ 〃 ）
柳田由太郎（厚生課）	広岡 脩二（工学部）
斉藤 義康（文理学部）	池田 正夫（ 〃 ）
山淵 保明（ 〃 ）	中島 澄子（ 〃 ）
見村 てい（教育学部）	有沢 一男（教養部）
有岡 進（ 〃 ）	酒井 弘（経営短期学部）

教員の海外旅行の雑感

ナホトカの情景

教養部助教授 藤井 昭二

1969年5月23日から6月11日まで、白鳳丸（東大海洋研究所所属3200トン）の日本海調査に参加し多くの資料をうる事ができた。このうち5月29日から6月4日舞鶴入港まで、ナホトカに寄港するので外国航路（出張）となった。

ナホトカ寄港の目的は①船内重力測定値のチェック②親善であった。戦後日本政府機関の船がソ連の港に寄港するのは、今までに航海練習所の遺骨収拾団のナホトカ入港があるだけで皆目見当がつかなかった。

入港前日の打合わせで、ナホトカの陸上での重力測定は不許可という電報が外務省から回送されたことが披露されナホトカに入港するかどうか議論された。

重力測定主任から、陸上で重力測定できないのだつたら入港する意味がないので、その日をもつと他の仕事にまわすべきでないかという意見がのべられた。もつともな事であるが、船は外航の手続きをしており、多くの人のはじめての外国、ソ連を見ようという期待が無視され、この後の土気にも影響するので、ディレクターはかなり苦慮し、結局①船内の重力計の作動まで停止を命ぜられたらすぐ引返す。②親善のため上陸すると決まった。

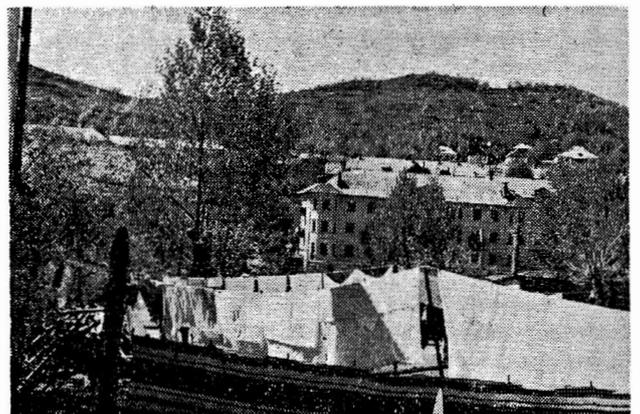
5月31日は船着場のあくまで待待ちし、その間、検疫、入管、税関の簡単な検査があり、別に問題なく6月1日に上陸した。

上陸の際は船のタラップの衛兵に旅券を預けて外出許可証をもらい、帰航の際は反対の手続きをし、船は日本の領土であるという感じを味わった。

ナホトカは1967年の夏と二度目の訪問であつた。1967年人口10万といわれていたが、今年の説明では1万ふえて11万となつていた。また昨年1年間の外国船の入港は500隻で、そのうち475隻が日本船であつたということである。前になかったが今度は日本の領事館ができており建設工事もどんどん進んでいるようであつた。ナホドカの港は入江が深く入りこんで山がせまり、いつ見てもよい港で漁港、商港、造船所が順序よくなり、その背後の丘にはそれぞれの従事者の住宅、学校がホール「文化宮殿」を中心に並んで町をつくり、その町が集まって市を形成している。市役所前広場の港の見える丘はナホトカ市民自慢の景勝地である。

6月1日は日曜日で銀行もほとんどの店も休みであつたが、同乗の2人のソ連人の好意でドルコーナーが開かれ、昼から3回船員クラブさしまわしの市内見学バスが出て、夜は船員クラブで歓迎会があつた。

午前中日が照って袖なしのワンピースを着た娘さんやオーバーを着た人がいて、ちぐはぐな感じであつたが昼から曇って風が吹き気温が急に下り肌寒くなり気温の激変に驚いた。新しい町にしては緑が多く、自動車が少ないので道路が広く見えた。建物はほとんど3階から4階で1階は店になっており、干し物は一定の広場にほされ、窓からの干し物はなかった。夜領事と船員クラブとの招待が船員クラ



干し物の広場

ブであり、24時の門限ぎりぎりまでナホトカの夜を楽しんだ。クラブの広間では学生会館の大集会室位の広さに200人前後の若者がダンス・パーティで青春を謳歌し、そのエネルギーを発散していた。2日は朝から雨で簡単な出国の検査があり出港した。アメリカ湾を出港し外洋に出ると時化のため船は大きく前後左右に揺れ、この航海が舞鶴まで続いた。

職 員 消 息

<新任者>

庶務部人事課

事務員 大崎 秀雄

文理学部

助教授 平山 実

講師 尾島 十郎

助手 山口 晴司

〃 東軒 克夫

文部技官 岡本 欣司

〃 水野 透

事務員 堀口 勲

技能員 岩城 広光

事務補佐員 中島 範子

〃 五百崎喜明

〃 二宮 英治

教育学部

助教授 鶴木 利雄

教諭 木越 政利

〃 杉村 修

〃 宮前 明

〃 黒崎 貞雄

〃 嶋作 恭子

〃 国永 正紀

薬学部

技術員 佐野 明美

助手 棚田 成紀

工学部

教授 田中 久弥

講師 大竹 勉

助手 島崎 利治

〃 川田 勉

〃 田子 修

文部技官 篠田 操

技術員 麻生 俊一

技術員 柴田 幹

用務員 竹林 信儀

事務補佐員 島野 砂

〃 松村 洋子

〃 小泉 時世

事務員 能手 哲治

〃 高野 俊英

教養部

助教授 広田 実

事務員 高邑 英市

附属図書館

事務員 森井 章

経営短期大学部

講師 西門 正巳

助手 珠玖 拓治

<改姓>

教育学部

文部事務官 安部 保子 (旧姓・水口)

工学部

文部事務官 坂東 康子 (旧姓・上村)

〃 石坂 淳子 (〃・林)

文部技官 奥田 都 (〃・池永)

事務補佐員 中川 栄子 (〃・谷道)

附属図書館

文部事務官 川腰 淳子 (旧姓・浦上)

<住所変更>

経理部

主計課長 大木 平吾

経理課長 石井 完

学生部

文部事務官 永森 俊夫

教育学部

教授 黒坂 富治

文部事務官 安部 保子

薬学部

教授 堀越 勇

助手 井上 正美

〃 星野 重孝

〃 安立 準

〃 的場 勝英

文部事務官 永森 寿子

工学部

講師 西部 慶一

文部技官 奥田 都

文部技官 南 立作
 文部事務官 石坂 淳子
 教養部
 助教授 海原 裕昭

 教授 平田 一郎

 附属図書館
 文部事務官 川腰 淳子

主 要 日 誌

本 部

- 4月1日 評議会
 2日 昭和44年度入学合格者発表
 7日 評議会, 協議会, 学長選挙管理委員会
 9日 機動隊の協力により本部関係建物封鎖解除
 10日 学長選挙管理委員会
 11日 昭和44年度入学式(於・黒田講堂)
 12日 学園紛争の現場検証
 17日 第1回補導協議会
 18日 評議会, 協議会, 学長選挙管理委員会
 24日 評議会, 協議会
 25日 補導協議会, 授業料減免選考委員会
 28日 学長選考管理委員会, 学長候補適任者選定委員会

 5月1日 評議員懇談会
 2日 評議会, 協議会
 7日 体育部会
 8日 学長候補適任者選定委員会
 9日 協議会
 10日 補導協議会
 11日 学長候補適任者選定委員会
 19日 協議会, 評議会, 学長選考管理委員会
 学長候補適任者選定委員会
 22日 補導協議会
 27日 学長選考管理委員会
 28日 大学祭前夜祭, 守衛室本部建物ならびに正門裏門等封鎖
 30日 補導協議会
 31日 永年勤続者表彰式

文 理 学 部

- 4月1日 教授会
 4日 人事教授会
 10日 教授会
 15日 学部補導委員会

- 22日 学部オリエンテーション
 23日 教授会
 28日 学部補導委員会
 5月6日 教授会
 8日 教授会
 14日 教授会
 21日 教授会, 学部職業補導委員会

教 育 学 部

- 4月1日 教授会, 教務補導合同委員会
 4日 附属小学校始業式
 5日 教務補導合同委員会, 附属小学校入学式, 附属中学校始業式
 7日 教授会, 附属中学校入学式
 14日 附属幼稚園始業式
 16日 補導委員会, 教授会
 17日 教務委員会
 18日 教授会
 21日 附属幼稚園入園式
 22日 補導委員会
 25日 附属幼稚園舎竣工式
 28日 教授会, 教務員委員会
 30日 予算委員会
 5月6日 学部図書委員会
 7日 職業補導委員会, 教授会
 12日 学部図書委員会, 教務委員会, 特別教職課程委員会
 14日 予算委員会
 21日 教務委員会
 30日 教授会, 紀要編集委員会

経 済 学 部

- 4月1日 教務委員会
 9日 機動隊の協力により事務室封鎖占拠解除
 12日 教務委員会, 人事教授会, 第1回教授会
 25・26日 第2回教授会
 28日 人事教授会
 5月12日 職業補導委員会, 教務委員会
 28日 全学部(教室, 研究室を除く)バリケード再封鎖占拠

薬 学 部

- 4月1日 教授会, 薬剤師国家試験(於・雄峰高校)
 8日 教授会
 9日 機動隊の協力により事務室封鎖解除
 10日 教授会, 人事教授会
 11日 教授会
 12日 教授会

- 14日 教授会
 15～18日 教授会(連日)
 21～25日 教授会(連日)
 28日 教授会
 30日 学部予算委員会
 5月1日 教授会
 2日 人事教授会
 8日 教授会
 14日 教授会
 15日 国・公・私立薬学科大学長会議(於・徳島大学)
 17日 教授会
 20日 教授会, 人事教授会, 大学院薬学研究科委員会
 21日 教授会
 23日 学部職業補導委員会
 24日 教授懇談会
 31日 教授会, 午後2.30全学部全館(研究室及び研究施設)パレット再封鎖占拠

工 学 部

- 4月1日 一般教授会
 8日 補導委員会
 10日 一般教授会
 14日 一般教授会, 昭和44年度大学院工学研究科入学式
 16日 専任教授会, 一般教授会
 17日 一般教授会
 19日 一般教授会
 21日 一般教授会
 22日 新入学生オリエンテーション
 23日 一般教授会
 25日 専任教授会, 職業補導委員会, 研究科委員会
 30日 一般教授会, 研究科委員会
 5月1日 学科主任会議
 7日 一般教授会, 教官懇談会
 14日 一般教授会
 20日 工学部概要打合せ会
 21日 選考委員会, 一般教授会
 28日 一般教授会
 29日 一般教授会, 教官懇談会
 20日 一般教授会

教 養 部

- 4月8日 補導委員会, 教授会(第1回)
 10日 教授会(第2回)
 11日 教授会(第3回)
 12日 教授会(第4回)
 17日 教授会(第5回)
 18日 教授会(第6回)

- 19日 教授会(第7回)
 21日 新入生オリエンテーション, 教授会(第8回)
 23日 教授会(第9回)
 26日 教授会(第10回)
 28日 教授会(第11回)
 30日 教授会(第12回)
 5月2日 教授会(第13回)
 6日 教授会(第14回)
 14日 教授会(第15回)
 22日 教授会(第16回)
 27日 補導委員会
 28日 教授会(第17回)

附 属 図 書 館

- 4月9日 事務打合会(第1回)
 24日 文献複写業務開始(一時中止のところ)
 25日 県図書館協会代議員会(於・県立図書館)
 5月8・9日 第19回北信地区図書館協議会(於・金沢大学)
 16日 県図書館協会定期総会(於・魚津図書館)
 28日 時間外開館休止(大学再封鎖の影響により)
 29日 事務打合会(第2回)
 30日 図書館審議会(第1回)

経 営 短 期 大 学 部

- 4月10日 教授会
 11日 昭和44年度入学式, 入学記念植樹, オリエンテーション
 14日 入学生歓迎会
 16日 教授会
 25日 後援会監査, 授業料減免委員会
 5月9日 教授会
 28日 大学祭前夜祭, 休講
 31日 創立記念日(休講) 永年勤続者表彰式

編 集

富山大学庶務部庶務課
 富山市五福3190

印 刷 所

中央印刷株式会社
 富山市下奥井28
 電話 ☎ 6572番